

本日、進路希望調査④配付 ～15日（水）締め切りです。～

今日は学力テスト総合Bの日です。前回の反省をもとに、しっかりと準備ができたでしょうか。これから受験までは、しっかりと計画を立てて学習に取り組んでほしいと思います。

さて、第4回進路希望調査を配付します。前回の進路希望調査から1か月近く経ち、学力テスト総合Aの結果や今日の学力テスト総合Bの手ごたえをもとに、現段階での進路希望を確認したいと思います。今後の進路相談の準備をするためにも、期日を守って提出するようにお願いします。なお、今回も公立高校、私立高校の一覧表を配付しますので、学校名や学科、コースについても間違いのないように正確に記入してください。また、保護者の方ともしっかりと相談するようにしてください。

例年、この時期の進路希望を見て感じるのは、「その希望は本当に自分自身が将来のことを考えて選んだものであり、家族も受け入れてくれているのか」ということです。今後、担任の先生は具体的な進路選択を含めた進路相談を行っていきます。その時、担任の先生から以下のような質問をされた場合、しっかりと答えられるでしょうか。まずは自分自身で考え、さらに家族とも必ず話し合い、すべての項目に答えられるようにしておきましょう。

【その進路先を選択する理由は何か】

- ・その進路先のどんなところに魅力を感じているのか。
- ・中学卒業後の進路先はゴールではない。さらにその先にはどんな希望や目標があるか。
- ・第1希望先に進むことが、第2、第3希望先に進むよりもよいと思う理由は何か。



【合格までと実際に入学してからの生活の目途はたっているか。】

- ・合格までの学習面の具体的な目標や目途がたっているか。
- ・合格することだけでなく、実際にそこに進んだらどんな生活ができそうか想像できているか。
- ・自分を伸ばしていくために、勉強以外にどんなことに取り組んでいくのか。

中学校では「成績や学力のことだけに偏りすぎた選択になっていないか」ということと「成績や学力に不安はないか」という両方の面から皆さんの希望を検討し、相談を進めていきます。しかし、現実には本校の卒業生でも進学先や就職先を「辞める」人が毎年出ています。目的や目標もなく、とりあえず入ればなんとかなるだろうという甘い考えで進路先を決めてはいけません。また、どんなに強く希望して進んでも、現実には苦労の連続になることもあります。それに耐えられるのは強い意志と目標をもった人だけです。進路先を決めることは、「目標と覚悟を決めること」だと言ってもよいかもしれません。